

明日にむかってⅡ

～今 2年がすぎて思うこと～



生活協同組合 コープふくしま
2013年6月

発行にあたって

震災から2年が過ぎました。今だから言えること、いまだから伝えておきたいことなどを、組合員に呼びかけ自由に書いて頂きました。

総勢158名の「今のこの思い」をお読みいただければ幸いです。

「ふくしま」を忘れない！ください。

「ふくしま」を見守ってください。

そして、ぜひ福島にお出かけください。

復興に向かって歩み始めたふくしまを、今後も応援くださいますよう、宜しくお願いします。

2013年6月

コープふくしま 生活文化グループ

～今のこの思いを伝えあおう！～

【福島地区】

- 体験した事があまりにも多く、振り返ると頭の中が真っ白になってしまう状態が今も続いています。勇気を出して心を落ち着かせて書いてみようと思います。両親の介護まっただ中での大地震でした。仙台から介護に来ていた姉も含め、8人で私の家に避難。そして共同生活。2ヵ月後、88歳の父死去。葬式そして法要。主人の入院、大手術、そしてリハビリ生活。余震により家の前の道路陥没。その復旧作業に伴う我家の庭とセメント階段の撤去工事。その補償問題。完全復旧まで半年かかり、気が付くと頭の地肌が見えていてギョッとした次第…。震災で倒れかかった実家の倉の解体の時は、身も心もヨレヨレで、さながら自分の身体が解体されて、崩れていくようでした。その間にも、郡山の孫達の県外避難などなど…。息子の小高の友達は津波で命を落とされました。このことを思うと、生きて今日までやってこられたことが、ただただ貴いことなのだと思います。私達福島県人は、人類が経験した事のない不安の中で生きていかなければなりません。世界中の人達が見ています。どんなふうに生きるのか問われている気がします。今年、父が残してくれた畑に花を咲かせて下さるという方がおります。伏黒の仮設住宅に届けられるよう、一緒に頑張りたいと思います。昨年のももの里マラソン大会開催時には、築90年の古い実家をアスリート達の無料宿泊所に利用して頂きました。マラソンファンであった父も盆提灯の陰からにんまりと笑っているような気がしてなりませんでした。今年も又、古い実家で希望となる何かをすることができたらいいなと考えております。

伊達市 ・ ほばらあちゃん

- 震災から2年が過ぎました。伊達市は津波の心配は無かったものの、原発という目に見えない恐ろしい体験をしました。家を流された方、大事な家族を亡くされた方、仮設で不自由な生活をされている方、家があるのに帰れない方など苦しんでいる方が沢山おります。私は何をしたら良いか、何ができるのか解りませんでした。感じた事は、雨風をしのぐ家があり三度の食事も頂けて、震災前の何事もなく普通の生活が、どれほどありがたいか幸せだったか、感謝の気持ちの足りなかったことに気付きました。これから私にできることは、早く復興できますように。早く皆が安心して生活できますようにと祈る事しか出来ません。辛く悲しい思いをしている人達の事を忘れないで感謝の心で生きていこうと思っています。

伊達市 ・ さくら

- 私には唯一の楽しみの一つ、家庭菜園をしたり、花をいじったり、孫達が遊びに来てくれるのが嬉しく、日々を過ごしていました。2年前の震災（原発）により、今も変わらずに遊びに来てくれますが、私の作った野菜など、数字的には安心と思い孫達も

食べてくれます。頭の片隅には少し不安が…。一日も早く、この土地福島が何の不安も心配もなく、健康で元気に育ってくれるよう願っています。

伊達市 ・ T・O

- ・ 震災時に経験した事を、今になって災害対策に生かしていないことを痛感している。電気がなくて、水がなくて、ガソリンがなくて、食料品がなくて苦労した事を覚えていない。無我夢中だったから。またの災害に備える事が大事。
- ・ 水がなかった時、近所の方に助けていただいた事は忘れられません。井戸ポンプのある方が快く水を下さった。ただし、ポリタンクがなくてペットボトルやバケツで水をもらったので、非常用の水を用意しておこう。ポリタンク、水汲みバケツ、ペットボトルの飲料水。水道が止まった場合の事を考えて地域に井戸があると良い。農家の方が畑用に井戸を持っているので活用させてもらえた。
- ・ 火・電気のない生活。電気がないと暖房器具が使えない。車の中で過ごした。ガソリンがすぐ無くなり、ガソリン確保に多くの時間を割いた。幸いLPガスが使えたので、湯をわかし、湯たんぽで暖をとれた。昔の生活の知恵と見直し、電気に頼らない生活をしたい。懐中電灯、ローソク、ホッカイロ、電池など常備しておこう。炊飯はジャーや土鍋を活用した。
- ・ 原発はいらない。太陽光を活用する。家庭でも明かりに使えたので良かったという例が出された。電気料も大変になるので、節電する事を生活の柱にしたい。
- ・ 非常食について、今のところ何をどの程度にしたらよいか、缶詰も賞味期限があるので。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ 大震災から2年の月日が経ちました。先日は各地で追悼の記念式典が執り行われましたが、映像を通して又あの時の忌わしい記憶が甦って胸が痛みました。一瞬にしてあれ程のおおきな犠牲者（津波）を出し、人々を悲しみと苦しみの地獄に突き落とした自然のエネルギーの恐ろしさを目の当たりにし、人間の力では到底防ぎ様の無い予測できない事と実感しました。幸いにして私の住む地域は、ケガ人も無く屋根瓦が落ちたり、家屋に損害はありましたが、これは直せば住む事です。原発による放射能被害は先の見えない、特に若い人達にとっては大変大きな悩みを背負う事になりました。経済優先よりも、皆が安心して住めるふるさと。これが願いです。原発は反対です。希望が持てる元気な福島を取り戻せる様に皆で力を合わせ、支え合ってこの困難を乗り越えて行きましょう。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ あの3/11東日本大震災から、早くも2年が経ちました。1年目は、水・電気・ガス・ガソリン等、無い物が当たり前の様になって不便さを感じた1年でしたが、全国の生協より、沢山の支援を頂き、徐々に復活することができました。原発事故により、放射能と言う未知のものが降ってきて身の回りから食物までどうしたらいいのか、ど

う過ごしたらいいのか困ってしまいましたが、生協は逸早く食物の検査やガラスバッチなど、放射能についての学びに取り組んで下さり安心しました。そして、全国の支援で購入した移動販売車が仮設を回り、買物の救済をされている事を知り、嬉しくなっています。有難うございます！！私が生協に入ったきっかけは、「安心・安全 そして、一人一人の絆を大切にすること」にととても同感したからだったと思い出しています。これからも全国のメンバーさんとの絆を大切にし、そして一人一人を思いやる生協でいてほしいと願っています。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ 今だかつて、体感経験の無い異様な振動は忘れる事がないでしょう。余震は少しずつ減ってきているようであるけれど、いつともいえない自然の怖いところです。コープ活動については、組合員さんの協力があって成り立つ生協店は一人一人が足を運んでくださる様、内容・価格等、取り組みに力を入れ、みんなの知恵で生協を盛り上げるようにしていかなければならないと思います。各委員会で話し合い、取り入れていただき、少しでも向上できるよう頑張っていきましょう。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ 震災に遭われた方々は毎日が大変だと思います。私は年も重ねておりますので、これからどうなるのだろうと心配です。皆と協力し助け合いながら生活していきたいと思っています。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ 風評被害などが全国的に広がり、山口県の友達が月に一回位、新鮮な野菜を送ってきてくださり、友達のありがたさをつくづく感じました。

伊達市 ・ 匿名希望

- ・ 何かしら心に引っかかる事があります。不安とか心配が心の底にあるのだと思います。放射線は毎日低レベルでも、震災前より多くあびているのは確かです。20代、30代の子供を持っている母としては心配です。今現在は身体にえいきょうはないと言う政府・県・市などの見解ですが、果たしてそれで良いのでしょうか？皆さんはどう思っていますか？

伊達市 ・ K・Y

- ・ 柿農家です。今まであんぽ柿を出荷していました。でも、この2年間は作る事が出来ずとても残念に思います。今年の検査でも良い結果が得られないようでした。これからあんぽ柿を作る事をととても不安に思っています。他の果物も出荷は出来ても、値が安くなっているそうです。これから何年続くのか…？

伊達市 ・ T・M



- 今まで気にしていなかった放射能を気にして生活していかななくてはならない事が苦痛です。いますぐに2年前に戻してもらいたいと思いますが、そんな無理な事ばかり言っていられないので、前向きにストレスを溜めないようにしたい。

伊達市 ・ 匿名希望

- あの日から2年、まだ2年、毎日スッキリしない日が続いている。家には6歳と15歳の孫がいて食べ物に気を使い、料理する時にまず見えています。震災当時は小さい孫達を避難させたかったが、「生活していくことができないよ。」と嫁さんが言ってしなかった。でも心は辛かったろうなと思います。米は山形より、野菜は県外と徹底しましたが、今は線量を測って県内のものを食べています。私も測ってもらいに行っています。今のところOKで安心していますが0（ゼロ）ではないです。100以下なだけです。こんな事、頭から離れる日がくるのかなーと思っています。外で思いっきり遊ばせる事も出来ず、車で出てあるって居ます。本当に心から安心して食べたり遊んだりする日が来るのかな？来てほしいです。安心できる我がふるさとを取り戻したい。でも家もあるし、壊れていないだけでもいいのかなー！！

伊達市 ・ S・S

- あの大震災の日、遅めの昼ご飯を食べ終わり、ちょっとゆっくりしていた時、強い揺れを感じ2階から逃げるように外に出ました。余震の続く中、私の頭の中は明日の事で一杯になりました。明日我が家は法要を予定していたのです。どうしたらいいのか頭の中はパニック状態になり、結局中止になりました。幸い停電にはなりませんでしたが、断水になり水の有難さをしみじみ感じました。あれから2年、まだ2年、もう2年。いろんな事が頭の中をめぐります。原発さえなかったら…。早く“うつくしまふくしま”になる事を祈らずにはられません。

伊達市 ・ 匿名希望

- 長かったようで、あっという間の2年間でした。県外の親戚、友達、ボランティアの方々にたくさんお世話になった2年間でした。お世話していただいたものの、何もお返しできていない状況です。いつか～いつか～ どんな方法かでお礼がしたいです。1月からお母さん達の癒しのサロンをオープンしました。放射能のお話や子育てのお話、たくさんのお母さんに参加してもらえたらいいなと思っています。

福島市 ・ スマイルママ



- 水・食料品・ガソリンで2時間も並んで苦労して物の大事さを痛感しました。コープマートも家から近いスーパーで助かります。今後も買物します。コープくらしの助け合いの活動も利用会員の方に待っていてもらえるので頑張っ続けてたいです。

福島市 ・ すずき

- Sさんより誘われて昨年からお世話になっています。助け合いを待っている組合員さん宅に手伝いに行くと本当に喜ばれ嬉しく思います。コープ商品の勉強会も改めて良さがわかり友人達にも広めたいと思います。これからは日頃の備えを忘れる事無く、常に意識を持って生活したいと思います。

福島市 ・ さとう

- 仮設住宅で暮している方の気持ちを思うと、とても辛い思いがします。早く復興し皆さんが幸せになれる様に。

福島市 ・ 匿名希望

- 長かったような短かったような2年間でした。私は助け合いの会に入っていて、活動中に震災に遭いました。本当にあんな体験は二度としたくありません。このごろやっと少しだけ恐怖感が薄くなってきた様な気がしますが、また忘れた頃に災害がなければと祈っております。あまり備えもしていません。あの時の体験を生かしていないので反省しています。今後は家族で話し合ったり、備えもしていかなくてはと思っています。最後に原発の問題が何も解決していない事はとても悲しいと思います。

福島市 ・ 匿名希望

- 電気も水道も利用できず、大変な思いをしました。食事は冷蔵庫の物を食べて何とか一週間はもたせて、そのうちガソリンも無くなり寒さに耐えて過ごしました。何をやる気力も無くなり何をしたら良いのかがわからなく、外出するのもおっくうです。トイレは風呂の水を利用して大変助かりました。水は近所の井戸水をいただき大変有難く思いました。地震の被害は殆どなく、運が良かったと思っています。原発は日本のどこにも要らないと思います。

福島市 ・ 匿名希望

- 地震の当日は丁度姉が背中を骨折して、K医療センターにMRIを撮りに連れて行き、フィルムを頂いてI整形外科に着いたとたんに地震に遭いました。病院は物は転がり、機器が倒れ患者を診る状態ではなく、まだ余震の続く中10分程歩いてかかる自宅まで姉は杖をついてようやく歩いてついて来ました。途中、笹谷コープ店の駐車場には近隣の人達が大勢集まっていて、自宅に帰る道は瓦が落ちた家があったり、危ないから行かない方がいいと注意を受けたが、余震のある度に立ち止まりながらようやく家にたどり着いた。その日はタクシーも止まり電話も通じないので、車のない我家は足が無いので姉を家に泊めることにした。電気も止まり水も止まり雪が降ってきたりで

寒さに震えオーバーを着て、ありったけの布団を出し寝たのを思い出す。非常袋の中に缶詰のパンが6缶あり、食事の足しになった。飲み水・トイレの水に困り、近くの学習センターに長い行列をしながら給水車を待った。食料にも困り、あちこちの開いている店に並んで買ったのを思い出します。水・電気・タクシー・電話、普段あるものが無いのは、どんなに不自由かが良くわかりました。普段の備えの大切さがわかりました。福島は原発もあり、いつになったら解決するのでしょうか。

福島市 ・ 匿名希望

- ・ 詩吟の稽古で帰り支度の時に揺れ始めました。額等が落ちて来て大変でしたが、皆大勢でいましたので、長い揺れでしたが助かりました。でも、だんだん暗くなり雪が降ってきて寒くなりました。急いで車を運転して帰りましたが、電気がだめだったので、信号がだめで怖い思いをしました。今までここは、津波等関係なくきましたので、ピンときませんでした。テレビを見てビックリしました。世の中何が起きるかわかりませんので、心して備えをしなければなりませんね。思いながらも今頃になってストレスか、身体の調子が悪く、思うだけで何も出来ません。

福島市 ・ 匿名希望

- ・ 2年前、突然激しい揺れに襲われました。今まで何事も無く過ごしていたのを思い出します。近所の若い夫婦の出産で山形県に行き丈夫で元気な赤ちゃんが産まれたのを、とても嬉しく思い出されます。又、近所の屋根瓦がたくさん落ちたのをびっくりして見たのとか、震災の恐ろしさを思い知らされました。次の日、原発のメルtdownと今まで想像もしなかったことが次々とおきました。でも私達の周りの人達の優しさが、これ程身にしみて感じた事はありませんでした。特にコープふくしまからの援助は大変有難かったです。灯油・米等々。今は何とか落ち着きを取り戻して皆暮していますが、浜通りの原発の近くの町に平和な暮らしが戻るのはいつのことか、だんだん薄れていく震災の記憶。私達は決して忘れないで、この体験を後に伝えていく事が大切だと強く思います。

福島市 ・ 匿名希望

- ・ あれから2年…もう2年…あの時の記憶は少しずつ薄らいでくるこの頃ですが、当たり前の生活がこんなに有難い事を知らされた思いでした。一瞬の内にライフラインが止まった事。先ず電気・水道・ガスがほとんど使えず、寒さに震えながら家の中の散乱した本や食器の片付けに追われ、外からの情報も無いままに日々を過ごし、3日目頃に電気がつき、テレビをつけ状況が少しずつ分かり大変な事が起きてしまったと知りました。しかし、自分ではどうすることも出来ず、とりあえず水・水・水。近所の人達の好意に感謝しながら近所の一人住まいの方に届けたりしていた。原発の爆発をテレビで見て、まさか福島まで被害がこようとは、あの時はとても思いもつかず過しました。今思い出しても恐ろしく情報の流し方に怒りを覚えております。

福島市 ・ 匿名希望

- 私はあの日は友達と待ち合わせをしていて、スーパーの駐車場で地震に遭いました。家にはすぐに戻ることも出来なかったし、主人との連絡も繋がらなく驚きの連続でした。お蔭様で屋根などは大丈夫でしたが、壁はあちこちにヒビが入っていました。未曾有の災害になり電気・水・ガソリン・食料何もかもなく、今までのあたりまえの生活がいかにありがたかったか…。原発の恐ろしさ、いまだに復興も進まないし、どこにも避難する所もないし、早く除染だけでもして頂き安心した暮らしがしたいです。

福島市 ・ N・K

- 震災から2年経って、色々なことがあった事を忘れかけてきた。前向きに生きたい。

伊達市 ・ 匿名希望

- 震災から2年を迎えようとしていますが、この苦しみは今も消える事はない。言いたいことは山ほどあるが、いつになったらこの苦しみから抜けられるのか不安だ。元の福島に戻ることを祈っている。

伊達市 ・ チューリップ

- こんな思いは2度とくりかえしたくない。何も気にしないでストレスを溜めないようにしているが、子供が来ないのでそれが気になる。

伊達市 ・ 桑折町美女

- 早いものです。震災から2年。原発や津波被災者、早く復興してほしい。

伊達市 ・ さくら

- 震災の事は薄れてしまい、毎日元気に過ごすようにしています。食品も検査済みなので安心して買物をしています。

伊達市 ・ E・S

- 震災から2年がきます。福島県は原発からの放射能があり、復興は長いと思います。復興への声もだんだん薄れているようです。皆忘れないよう大声を出して行きたいと思います。

伊達市 ・ 春待ち人

- 間もなく震災から満二年になります。テレビは毎日被災者の方々の今を、又、当時の状況を放送しています。石巻の身内が4人亡くなりました。時が経っても当時の事は忘れられません。今、又映像を見て思いが涙を誘ってしまいます。復興が遅々として進まないし、政府の対応も進まないと思います。

伊達市 F・H

- 今ここに住んでいるので、このまま住み続けると 생각합니다。もし、このまま住み続け

る事が無理であれば、その時点で指示があると思いますので、それが無かったという事はこのままで良いという事なのだと判断しています。お店で売っている物も特に産地とかも（普通に流通しているものは安全な物と判断）確認もしていません。無意味な心配や不安は一切思ってもいません。これで一生が終わっても、それはそれで私の人生と思って過ごして行こうと思っています。皆さんが何でそんなにいつまでもこだわるのかな～という思いです。おかしいでしょうか？今満61歳女性です。

福島市 ・ 匿名希望

- 震災に遭って仮設住宅に入って生活しなければいけなくなった人々はいっぱいます。

福島市 ・ T・K

- とてもとても長く感じた2年間でした。外に出られない辛さ。子供を家の中に閉じ込めておかなければならないストレス。狂いそうな…暴れだしたいが大人も子供も、心の中も頭の中も苦しい思いが、毎日毎日終わることなく続き、今現在は外に出るのも怖いけど、家にいるのもモヤモヤするので、一時間ぐらいの時間を決めて散歩や自転車で外に出る事を楽しむ事にしました。

福島市 ・ 匿名希望

- あの地震からもう2年経つのか…という感じがします。見た目には以前の生活と変わらないように見えます。しかし、この2年間子供達は思いっきり外で遊ぶ事をしなくなり、県内の野菜や果物を手に取ることも少なくなりました。おそらく、これからもこの生活が続くと思います。何より、次世代の子供達が震災前の生活が出来る事を願うばかりです。

福島市 ・ 匿名希望

- 震災から2年。その当時も、現在も余儀なく犠牲となられている方々がたくさんいらっしゃいます。辛く悲しく心身全て困り果てた日々でした。しかし、周りで助け合いながら、守っていきながら乗り越えてきた事はたくさんあり、現在があると思いました。当時私は4人目の子供が臨月になろうとしていました。旦那が出張中で、帰福するという事で待っていた時の事でした。上の子3人を必死で守り、近所や親にたくさん助けられ過ごした記憶があります。復興を、除染を、そして未来の子供達の為、安全と安心の福島で、もとの福島で楽しく過ごせていけるように、県民の気持ちをしっかりと受け止めてほしいものです。福島で生まれて育って本当に良かったと思ってもらえる、将来が笑顔で迎えられるように共に頑張っていきたいと感じています。

福島市 ・ 匿名希望

- あれから2年。震災を経験し、当たり前前の日常がどんなに幸せで大切だったかを思い知らされました。多くの犠牲になった方々やそのご家族、家を失った方々の事を思うと苦しくなります。福島は放射能の問題もあり、これからも子供達の健康不安を抱え

ながら生活していかなければなりません。悩む事も多く毎日が大変ですが、同じ気持ちを抱えながら生活をしている福島の方々と共に頑張っていきたいと思います。

福島市 ・ ふくしま大好き

- 頑張った人にしか流せない涙があるように、乗り越えた人にしか見せられない笑顔があります。5年後、10年後、私達の笑顔は震災前より輝いているはず。この2年、様々な情報に一喜一憂しましたが、現状を冷静に受け止め、大好きな福島でこれからも胸を張って暮していきたいと思います。

福島市 ・ えりつじん

- あの日長男家族は仙台に住んでおり、連絡が取れずご先祖様に無事であることを願うしかありませんでした。二日後、次男と連絡が取れ、全員無事近くの学校に避難していたと知らせてくれた。次の日皆で家に着くと安心の涙でした。アパートは水で住めなくなりましたが、知人から住む家が見つかったと電話があつて、仕事・学校・原発事故などを考え、十日程で帰って行った。大きい地震や原発は、今迄感じたことの無いこわさです。孫達は元気で遊びにきます。次男の三女は、3月6日に生まれ2歳になり、家が近いので「じいじ、ばあば」と可愛く姉兄と遊んで帰ります。世の中が全部変わって（気候・ミサイルなど）恐ろしくなります。息子達も皆様に助けられ頑張っています。孫達が元気に楽しく、津波や放射能を気にせず暮していける世の中になればと願っています。

伊達市 ・ S・M

- 私は原発から20km圏内の小高に居住していたため、未だ避難生活をしています。避難所、仮設住宅、アパートと2年間に転々としました。子供の小高中学校・小高小学校に戻りたいという意志を尊重し現在原町にありますが、その選択が良かったのか、親としての判断にいつも悩んでいます。やはりそれは誰もが、原子力の事、先々がどのようなものかが分からない事が原因だと思います。東京電力、政府の対応にとっても疑問を感じます。もっと我が身になって考えてもらいたい。本気になってもらいたいです。そんな中でも、子供達は理不尽な事でも口に出さず、友達と学校で過ごす喜びの中、毎日を淡々と送っています。子供の笑顔、全国から支援してくれた人々からの優しさに元気をもらった短い2年間でした。将来この子供達が健康で生活できること、それを一番に願っています。

福島市 ・ チャル

- 震災から2年、何気なく過ごしている毎日の一瞬一瞬が、とてもかけがえのない事なんだと実感している。同じ失敗が繰り返されないように、被害を出来るだけ小さくしていけるように、震災の事を忘れず後世に語り継いでいきたい。

福島市 ・ 匿名希望

- 今年の甲子園の入場行進曲は「花は咲く」でした。NHK東日本大震災復興ソングで、歌詞の一節に、心を未来につなぐ印象深いフレーズがありました。「花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に 花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために」春が来て花は咲く。大きなダメージを受けても、その地に生命が宿り、大人になって愛する人とその地を守る。毎年、必ず花は咲く。時間はかかっても必ず復興できる。そのような想いをこめた応援歌に聞こえました。今までのたくさんの支援に感謝し、花を愛でることが出来る幸せに浸りながら、明日への希望を持って生きていこうと思います。

南相馬市 ・ フラワーレディ

- 月日が経つにつれ心が重くなり、普通の生活、普通に買物がしたい。いつか福島を出たい。それが夢になってきている。

福島市 ・ ミリンド

- 2年が過ぎ、毎日気にならないよう生活していますが、頭の隅には、本当に原発は大丈夫なのか、また放射能汚染は大丈夫なのか。頭の中から離れません。ましてや汚染水漏れの連日報道には、余計気を使っています。しかし、野菜は地元で売られている物を食しています。日々、プラス思考で生活しようと思う。

伊達郡 ・ 匿名希望

- 初めは放射能に不安を抱えていましたが、たくさんの情報を得ていくうちに、少しずつ不安が減ってきました。色々な検査を通じて今は大丈夫と思い、共存していくしかないと思います。やはり福島が好きなので、ここで暮らし、子供達を育てていきたいです。気持ちを明るく持ち、前に進み楽しい事をたくさん体験したり、心も体も元気になれば、震災前の「福島県」より、もっと素敵な「福島県」に生まれ変われると思います。

福島市 ・ 笑顔がいちばん！！

- あれから2年が経つんですね。あの日のことは今でも忘れません。家庭菜園を始めて、毎年庭で出来た野菜を楽しみ、美味しく食べてました。あの頃も苺が大きく実り食べ頃でした。自給自足の生活が軌道に乗っていたのに。これからも野菜を作って少しでも生活が楽になる様に、楽しみながら生活していきたい。元の状況に戻るのは何時？...



福島市 ・ 匿名希望

- 震災から2年余、幸い我が家では地震の被害も少なく済みましたが、原発事故の為、自家製野菜を安心して食べる事が出来なくなりました。身近に採れる山菜やきのこや筍・柿・栗・梅等、汚染された食品は食べる事が出来ないのが困ります。高齢者家族ですので、放射線の健康被害が出る頃までは生きて居れないとは思いますが。私達の地区も今年度は除染が始まるとの事ですが、どの程度の効果が期待できるのか不安です。放射線の心配が一日も早くなくなるよう望んでおります。

伊達郡 ・ かにざ

- 震災後環境が変わり、今までの生活がどれだけ良かったか痛感しました。幸い我が家の被害はほとんど無かったですが、放射能や食べ物の事で気にも留めないことを気にしなくてはならない生活でした。気持ちだけは前向きに、店頭で販売されているのは安全だと信じるしかないと思って購入しています。私達の子供が今後大人になり、後遺症が起こるかもしれません。未来は誰も分からないし、切り開いていくものだと思います。だから、1日1日を大切に過ごしていこうと思います。農家の人達で苦しんでいて、自殺する方が出ない世の中になっていただきたいです。仮設の人達も頑張してほしいです。

福島市 ・ 匿名希望

- 震災直後は、もう普通の生活は出来ないかもしれない。という思いがありました。しかし、人の力はすごいです。少しずつですが街は復興していき、元の生活に戻っていききました。県外から嫁いで来たので、実家の両親や友達から沢山の励ましを頂き、ありがたいなぁと感謝の気持ちでいっぱいになりました。先月3月11日に県外の友人数人から連絡をもらいました。普通の生活は出来ているのか、食べる物はどうしているのか、制限された生活で子供達はストレス溜めないのか心配されました。学校や公園など公の場の除染が済んで、野外活動も通常通り行っていると伝えました。食べる物も県内、他県産と震災前と同じように購入して食べていると伝えました。県外に住んでいる人との温度差を感じつつ、心配し気にかけてくれる友人達には元気に生活していることを伝え、安心してもらいました。私と同じような思いをしている方は少なくないと思います。これからの福島のために私が出来る事は、元気に過ごしている事を伝えつつ、震災を風化させないようにする事が少しずつでも出来たらいいなと思います。

福島市 ・ ひよママ



- あれから2年、その時私は美容院に居た。忘れもしない3月11日2時46分、皆の携帯が一斉に鳴り出した。物凄い音、一瞬何が起きたのか解らなかった。店の外に出て知らない人同士抱き合って震えていた。そんな時主人を心配する私を店のオーナーが私を家まで送ってくれた。自分も店が大変なのに。何が起きたか解らず、ゴミ袋を持ち茫然としていた主人の姿が今でも脳裏に焼きついている。其の後主人は体調を崩し、一年過ぎず亡くなった。悪夢のような一年。今震災から2年を迎え、自分に何が出来るのか。年齢的にも？津波で家を流された人、原発で故郷を無くした人、考えると、あの時のオーナーのとった行動を思い出し、とっさの時、人に手を差し伸べられるような生き方をしたいと思う。多くの人達と手を携えながら自分の出来る範囲内で？

伊達市 ・ チャコちゃん

- 3・11震災以降の聞きなれない言葉、単語、数字など聞かれない様な生活に早く戻してほしい。放射線、放射能、除染などの学習会に何度も出掛けた。そのたび自分の考えも入れて行動してきた。又、ベクレルの計算など未だに良く分からない。仮設住宅へのお茶会も月1度お手伝いして居るが、避難されている方達の中には原発再稼働を願っている人達も居ます。仲間内にはそんな人達の所へ、お茶会に行く事もないのではという話も出ています。でも待っていてくれる方達がいる限り続けたいと思う。色んな面で自分が健康で歩ける限り、虹の会、助け合いの会、又、組合活動など続けたいと思います。要らないと云われるまで…。

福島市 ・ K・K

- 2年前の東日本巨大地震M8.8の強い地震におそわれ、大津波が発生し想定外の大きさでした。又、東京電力の原発と重なり、数日間何が起きているのか情報が中々入らない。今思い起こすとテレビ、ラジオのニュースだけが頼りでした。世界中に広まり東北の福島は皆知る事になりました。津波に遭われた方々、急ぎ立てられるようにバス移動の方々のことを思うと心が痛みます。未だにまだまだ復興は思うように進んでいません。悲しい事です。政府の縦割りをなくし、避難している人の事考えて新しい所に住む。仮の町や、住まいの保障をどんどん進めて良い環境地域に努力をする必要があると思います。阪神震災は「ガーン」ときた方なので、回復は早い方だと思いますが、福島原発はこれでもか、これでもかと重なって先が見えないので、中々立ち直れない状態だと思います。だから一刻も早く政府の対策本部の力がほしいのだと思います。又、県外に住んでいる人達だって、他人事ではないのです。いつ、どこに起こってもおかしくない日本の国なのです。もっと温かく相手の気持ちを考えるように苦しみ分かち合うこと大切だと思います。そして、福島食品は一番安心、安全なものを提供しています。自分が今出来る事から始める事だと思います。ふるさとを取り戻す長い道のりは、今始まったばかりです。風化させることなく心一つにして、前に進みましょう。

福島市 ・ アッチャン

- 私達の住んで居ます郡部の除染は、所々進んでいません。早く仮置き場を決めて進めて欲しいと願っています。私の感じている事は福島市内、郡部に住んでいる方々の話がほとんど見えません。若者達、高校生、中学生は今の福島市内、郡部をどうしたいと思っているのでしょうか。そして何を考えているのでしょうか。郡山方面よりも福島、郡部は所々線量が高い所があると思います。もっと声を上げて欲しいものです。津波の被害はありませんでしたが、もっと声を大にして国への不満を訴えて欲しいです。

伊達郡 ・ 匿名希望

- 毎日テレビなどで、ニュースなど見ていると、まだまだ大変な事が沢山あり、避難している人達も、いつになったら家に帰ることが出来るか本当に心配だと思います。私達の住んでいる所は、まだ良い方なのだと思います。一日も早くもとの良い福島に戻って、皆安心して暮していける日が来る事を心より願っております。私にも出来る事があれば、何でもやりたいと思っています。

伊達郡 ・ 匿名希望

- 家族の絆がより深まった反面、離れ離れが残念でならない。除染とは名ばかり。実質的に何一つ進展していない。中間貯蔵は、今まで受益を受けた原発立地町に放置すべきであろうと考えています。

伊達郡 ・ 匿名希望

- 早く浜通りの人達が故郷に帰れるように、除染などの事業をやって下さい。

伊達郡 ・ 匿名希望

- 3月11日 2時46分のあの未曾有の東日本大震災から2年が経ちますが、あの激しい揺れを思い出すと、今でも恐怖に震えてしまいます。福島では震災・津波・原発・風評と四重苦に耐えながら、多くの方々は子供さんと共に住み慣れた市町村を離れ、各県でいつ終わるとも知れない不安で不自由な避難生活を送っておられます。東電・国・県が一体となって被災者の生の声を聞いて一日も早い収束・復興を実現させて欲しいと願うばかりです。

福島市 ・ 匿名希望

- コープには長い事、大変お世話になっております。家から近いという事もあり、毎日のように足を運んでおります。第一に食品等の放射能の検査をしっかり行って欲しいと思っています。放射性物質（ヨウ素 131・セシウム 134・セシウム 137）の暫定基準をクリアした食品を販売する等、安心・安全・品質の良い物をお願いします。

福島市 ・ 匿名希望

- 突然起こった2011. 3. 11の東北地方を巨大地震・津波、そして東電からの放

射能、そして風評被害と四重の苦難と…あれから2年、仮設住宅に住んでいる人達もどうか自分なりに生きていかなければならない道筋は出来たと思いますが、まだまだガレキの撤去、除染なども出来ていません。子供達の未来の事など多くの問題を政治と東電、地方自治体が一体となって解決して欲しいです。屋外で遊ぶ楽しそうな子供達の声も余り聞こえず、なんでこんな福島県になってしまったのか。富岡町、広野町の友人達も我家を離れて暮らしている声を聞くと心が痛くなります。一日でも早く福島県の人達が穏やかな普通の生活が出来る事を、私は生きている間、願い続けていきます。

福島市 ・ K・K

- この2年は不安の中での日々、地震は自然災害、抑えることは不可能ですが早めの対策で被害を少なくできます。原発に対しては、3.11の水素爆発以来、今まで体験した事のない放射能に怯えての生活、恐ろしいことです。人類を滅亡に導いてしまう事を広島・長崎で受けた日本、忘れたのでしょうか。便利よりも、私は知恵を出し合い、人間らしい生活を望みます。あの哀れな福島原発の姿、自然の美しい福島にとって醜い姿です。最近少し落ち着いていましたら、停電、汚染水のもれ、進まない廃炉…福島県民は我慢強くおとなしいと言われています。そろそろ大声を出し国を動かし、避難されている方、自分達の元気な住みやすい町を作ってください。理想のタウンを。これからの福島を築いてくれる子供達、恐ろしいことを体験した分、人の痛みのわかる強い絆で、すばらしきふるさと福島を！

福島市 ・ 匿名希望

- 放射能という言葉が、これ程までに身近な所にあったのには本当にびっくりの一言でした。色も形も臭いもない放射能によって、毎日の衣・食・住に何を基準にしたらいのか本当に不安でした。これからはあまり精神的に考え込まないで、安全・安心な食料(野菜・魚・その他)を取っていきたいと思います。ストレスは身体に良くないのでなるべく広い気持ちで過ごして行きたいと思います。

福島市 ・ 匿名希望

- 東日本大震災から二年が過ぎましたが、東京電力福島第一原発から十km圏内にある浪江町は除染が手付かずの状態です。被災者の人達は、政府に被災者が希望を持てる様な十分な賠償を行う事を願っています。移転先、雇用、子供達の教育、生活が一日も早く道筋をつけてほしいと言っています。放射線についても除染を早くして、仮設住宅を出て、自宅で暮らす夢を持っています。去年の11月10日小高町視察に行き、海岸沿いの津波跡を見た時は、海岸まで一直線に見え後片付けもされてなくあちこちに自動車もあり津波が激しかった様子がよく分かりました。一日も早く復興を祈ります。これからも少しでも何か出来る事はないか考えます。

福島市 ・ 匿名希望

- あれから2年、今私達はもしなければならぬのか？学校でも校庭で運動させたり、伊達市では家族で避難していた人達も帰ってきたり、もうすっかり何もなかった様に感じます。影も形もない原発、まだまだ20年～30年は恐ろしいのですか？伊達市の催しで、孫達を連れて長野に行ったり、又、いわき放射能市民測定室の保養プロジェクトでジャーナリストの広河さんが立ち上げた沖縄への旅行を新聞で読んで参加しています。「子供の体は受けやすく、抜けやすい」そうです。汚染された土地に今も住んでいる子供達は一定期間保養する事で、健康の回復を促し将来の病気の発症を防ぐ事が必要とのこと。是非、コープふくしまでも原発の無い所に子供を送る運動をしてほしいです。未来ある子供達を少しでも守って欲しいです。確かに食べ物を計って安全な食品を売る事も大切ですが、空気の綺麗な所へ…？ジャーナリストの広河さんがお話した事ですが、チェルノブイリの原発にも行かれた時の線量計は振切れなかったそうです。福島原発はすごくて振切れたそうです。「本当に今すべき事は何か」と考えた時、大人は一人でも多くの子供達を原発から守る事ではないでしょうか。これらの色々な行事に参加させることによって、汚染されていない土地でのびのび遊ぶ事でストレスから解放され、汚染されていない食物を食べる事で体内被曝の進行から解放され、抵抗力・免疫力をつけさせてあげることができます。これらはすべて人災と言われています。本当は救援も責任者達の手で行うべきであると考えます。でも責任者達が動いてくれるまで子供達を放置できません。

福島市 ・ 匿名希望

- あっ～と言う間の2年…その日は私の〇〇歳の誕生日。今まで感じた事のない強い揺れが長く続き、生きた心地がしなかったです。これからも忘れる事はないでしょう。家族が元気で無事だった事が幸いです。

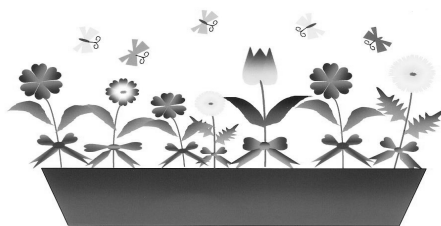
伊達市 ・ コープ大好きレディー

- 3・11からもう2年。まだ2年。“生かされた命に感謝しながら前に進む”しかないか！！

伊達市 ・ フトツチョ

- あの震災から2年が過ぎて、さまざまな想いがよぎります。亡くなられた方や仮設住宅等で暮しておられる方々を思う時、自分は一生我家で暮らせる事が一番幸福な事だと思います。そして一日も早い復興を願っています。

伊達市 ・ M・S



- 表面上、日常は震災前と変わらないよう、なるべく普通に生活しているつもりです。でも、原子力発電の事故を経験し、内面は子供の成長面で心配はつきません。しかもいまだ不安定で事故処理もままならない状態であることに変わりはなく、常に注意を払っておかなければいけないのが現状です。今は震災前に食べていた畑からの取れたて野菜の味が恋しいです。お米にしても野菜、果物の取りがけの新鮮な物が美味しかったと思います。復興とかかかっていますが、ハード面は計画的に進んでいると思いますが、ソフト面では、いろいろ難しいと思います。一人でも多く、福島での生活を明るく元気に過ごせるよう望みます。

福島市 ・ ハッピーブータン

- 風評被害が大変でした。この二本松でこれから出来る事をする事。少しずつでも作物を作り、やはり自給自足をする事だと思う。

二本松市 ・ コンコン

- 東日本大震災、そして東京電力の放射能。あの日から私達を取り巻く環境は大きく変わりました。中でも放射能の問題は誰もが初めて直面するものであり、放射能との戦いと言っても過言ではないと思います。私達の地区内では除染が進められていますが、子供さんのいる家は除染が済み、すぐ隣は老夫婦が住む家が放射能が高そうでも除染は後回しに見えてなりません。色々事情があるのはわかっていますが、とてもはがゆく思います。自宅近くに仮設住宅が立ち並んでいる。そこに住む人達は原発事故からもう2年になる。連れだって歩いているのを見かけると、帰りたくとも帰る事が出来ず、私達以上に大変だろうと思います。

二本松市 ・ ねねちゃん

- 東日本大震災から2年になりますね。それから放射線への不安、大変な2年間でした。あの激しい揺れを思い出すと今も恐怖に震えます。県内各地で大きな被害をもたらした東日本大震災、新聞などを見ると森林の除染も手付かずの状態。古里へ戻ろうとする思いや、仮設生活に疲れ果てている人達を思うと心が痛みます。多くの人達が苦しむ中、本当に住める家があるだけで幸せだと思いました。もうすぐ春をつげる花が咲きます。相手の苦しみを知り、自分らしく明るく生きたいと思います。この日々の活動がやがて、夢ある未来へ繋がる事を信じて自分なりに頑張ろうと思いました。

二本松市 ・ 頑張るおばちゃん

- 私達は今まで経験した事のない災いに遭い、家族の絆とか隣近所の人達との支え合いなど、これからも忘れないで生きてゆきたいと思いました。これからもコープの活動を通じて自分が出来る限り、自分の為に周りの人の為に頑張っていけたらと思っています。

二本松市 ・ 匿名希望

- この東日本大震災は、地震はもとより、津波の被害が多くの方を路頭に迷わせました。そして、東京電力原子力発電所の爆発事故の放射能汚染が更なる不安を拡大させました。ここ2年は放射能との闘いの日々と言っても過言ではないと思っています。毎日、環境放射能数値に怯えて暮らす事はうんざりだと思っていました。この原発事故を通して放射能と向き合い知る事ができました。また、組合員活動を通して人と人とのつながり、温かいハートを感じることもできました。我家では猫の額ほどの畑で野菜を作り、出来た野菜を食べております。2度の食事調査に参加をしました。セシウム不検出の調査結果に安堵し、ホールボディカウンターの測定は、基準値内でした。また、我家には、18歳未満の子供はおらず除染作業は後回しです。コープの除染相談会では家周り、室内の放射能を測定してもらい数値を知り適切なアドバイスを受け、この1年我家なりの安心を取り戻しています。早く全世帯が除染を済ませて数値が下がり、若いママ達が子供を安心して戸外で遊ばせる事ができる「元の福島・うつくしま福島」を取り戻したいですね。

二本松市 ・ 匿名希望

- もう2年が経ちました。当時は何をするのも「大丈夫？」と疑問を持ちながらの生活でした。そして現在何が変わったかと思えば、状況はそれ程変わっていないけれど、「大丈夫！」と思うようになりました。恐がってばかりでは前に進めないし、ストレスになります。どうせなら今の現状を受け入れて、楽しく過ごす方が得！と思えば気持ちも楽になりました。この大変な体験を風化させてはいけないと思いますが、それに縛られないように頑張っていこうと思っています。

二本松市 ・ 匿名希望

- あれから2年が過ぎようとしています。当時私は家にいました。揺れが長く続き、1ヶ月前にニュージーランドでおきた地震の事を思い出し、気が付くと茶だんすを両手で押さえながら「早くおさまって〜！」と心で叫んでいました。その後余震は1ヶ月以上続き、不安と恐怖で孫達も怯えていました。ヨウ素・セシウム・メルトダウンと聞きなれない言葉に戸惑いました。自分の畑の野菜はほとんど食べられない！こんな事あるの？と信じられない事ばかりでした。早く放射能から脱出したい日々です。まだこの辺は、「家に住まわれるだけいいかな？」と独り言です。被災地は復旧・復興とは程遠い生活を送っている人々が31万5千人以上もいるそうです。早くもとの生活に戻るよう心から祈っています。どうしたら良いのか私には分かりませんが、みんなの声を大にして国会に訴え、被災者と心を繋ぐ政治にしてほしい。福島は今後何十年も放射能と付き合っていかなければなりません。やはり、2度と原発を作ってはならないと思います。

二本松市 ・ はなみずき



- 震災から2年、私達の住む中通りは風評被害に遭っているくらいで、切羽詰った事もなく、実際浪江の人達と付き合ってみてお気の毒に思います。人の力になりたいと思っても自分が年を重ねすぎ、何も出来ないもどかしさを思っています。人は1人では生きられないというのを切に感じます。

二本松市 ・ 匿名希望

- 原発の安全神話にどっぷりとつかっていたが、震災での事故にあい、原発の恐さをひしひしと感じた。福島県民として、原発廃止に向けて声を上げていきたいと思う。

二本松市 ・ 匿名希望

- 先日テレビで風評被害の為に、宮城・岩手・福島の三県で、観光客が一番少ないのが福島県で、半数にも満たないのを知り驚きました。福島原発が、一番の原因で家の周りもまだまだ放射線が多いところで3.5マイクロシーベルト、少ない所でも0.3～0.5位あるので、多い所だけでも早く除染してもらいたいと思っています。(孫が時々来る為にも)

二本松市 ・ 匿名希望

- 福島に住んでいるという事で、全国の友人よりお見舞い頂き、とても嬉しく思いました。又、原発の事があり今まで送っていた福島の産物があまり喜ばれなかったりとかで淋しい思いもしました。子供達も東京方面に嫁いでいるものですから、あまり里帰りも出来なくなり、こっちも淋しいです。私はまだまだ良い方で、本当に被害に遭った方々は未だに苦しい思いをしています。一日も早く元の福島の生活になるよう願っています。

二本松市 ・ 匿名希望

- 震災から2年経ったのに、何も進歩していないような気がします。早く安心して暮せる福島になってほしいと思います。

二本松市 ・ じゅんママ

- このままこの地に住み続けていいのか迷い続け…いつの間にか2年を迎えようとしています。私だけなら放射能の事はさほど気にもしなかったと思いますが、幼い2人の子供の将来の事を考えると、とても不安になります。子孫を残したいと考えるなら福島に住んでいてはいけないと言われ…将来、子供が成長した時に「福島出身」という事で差別をされたり、結婚を反対される事もある…そう聞かされています。報道などではそれ程気にしなくとも二本松なら住んでも大丈夫な地域に入るようで、どの情報を信じたらいいのか、未だに分かりません。でも今更行くあても無く…。ここに住んでいるしかないと思ってあきらめています。最近では、地震も少なくなり…震度2、3の地震ではあまり驚かなくなった自分が恐いです。放射能については本当の影響は、5年後、10年後にわかるそうで…まだまだ安心はできないと思っています。…でも、

その反面、この環境に慣れてしまっている日常が恐ろしいです。これから何をしたいか自分でもわかりませんが、子供達に安全な環境を与えてあげたいと思います。

二本松市 ・ つっち〜

- 東日本大震災から2年経ちますが、今でもあの日のことは忘れられません。あまりに長い揺れに子供達は大泣き。私も体が震えどうする事も出来ず子供を机の下に入れ、私はテレビを押さえる事で精一杯でした。その後も何度も来る余震に子供は揺れる度に怯え、泣いて私の側から離れようとせず精神的にもかなり参ってしまいました。今も緊急地震速報が鳴ると「ビクッ」として、あの時の事を思い出します。もう2度とあのような地震は体験したくありません。二本松は津波による被害は大丈夫だったものの、水道が止まり、ガソリンや食料がお店に入って来ないと、とても不便な状況になってしまいました。その後原発問題が出て来て、原発による風評被害で、野菜や米に影響が出て、外遊びも出来ない状況になってしまいました。今は普通に生活はしているが、実際線量はほとんど下がっていない。2年経っても全然進まない除染。早く何とかして欲しい。戻れるものなら2年前に戻りたいです。本当、言葉では言い表せないくらい「原発がにくい」です。

二本松市 ・ キョロちゃん

- 震災からもう2年なんて早いなあと思いました。毎日慌ただしく生活していると当時心配していた事を、つい忘れてしまいます。しかし、原発の問題はあまり解決していない状況で、子供達の将来を考えると心配する事は山ほどあります。くよくよ悩んでも仕方がないので今出来る事をして、自分のペースで進んでいくしかないと思います！福島の子供達の未来を願うばかりです！！

二本松市 ・ 匿名希望

- 被災した旦那さんの実家や周りの復興していく様子を、帰った時子供達に見せています。子供達がどう思うかまだわかりませんが。色々な力を感じてほしいなと思います。

二本松市 ・ かいくんママ

- あの大きな地震の後、原発事故直後から2人の子供を持つ私は不安で数回自主的に避難しました。その間に県外の方が声をかけてくれたり、気づかせてくださり、話を親身に聞いてもらい、本当に精神的に安心しました。そしてその後コープ委員会に入り、さらに全国のコープ委員の方々との交流も少しずつあり、繋がっているという実感がわきました。これからは放射能の不安もありますが、今避難区域の人達の仮設住宅での手伝いや相双地区のコープ委員の方との交流での話しになった事で、今出来る事をボランティアスタッフとして微力ではありますが、県内の人達と一緒に頑張っていきたいと思います。

二本松市 ・ 匿名希望

- 放射線の危険を感じながら、不安と心配が常にあった。子供達を避難させるか悩んだり迷ったりしながら生活していたことを思い出す。仮設などに暮している人達と比べると自分の家で不自由なく暮している自分達は幸せな方だと思うが、それでも外出を制限されたり、食べ物に気を付けたり、精神的に大変な思いはたくさんあった。これからは震災前の安全・安心な生活を送ることは出来ないと思うが、子供・家庭・自分の健康に気を付けて節約を心掛けて生活していきたい。

二本松市 ・ 匿名希望

- これからしたい事は、放射線の影響を気にせず外で子供と思いきり遊んだり、自然と触れ合えるような事をしたい。自分が子供の頃普通にできた遊び（砂遊び・笹の葉で舟を作って小川に流す・落葉拾い・公園の遊具や泥遊び）などを思い切りさせてあげられなかった。あげられない事が残念だし悲しい。この2年間色々な事がありました。子供を通しての人との出会いや別れもありました。せっかく仲良くなれたのに、放射線を気にしながら子育ては出来ないと、引越して行ってしまった親子。自分は家庭の事情で福島を離れる事は出来ないし、ここで生活していくしかない現状の中で、福島県の子供達は全国の中で運動不足で扁平足の子が多いとニュースを聞き、自分の子も、そうなんだろうか、なってしまうのか、せめて屋内遊技場がもっと増えてくれたらと願う。

二本松市 ・ K&T

- 3・11後に、石油・ガソリンがなくなり、電気は止まらなかったが、娘家族がアパートに居られなくなり、転がり込んで来ました。総勢11人になりました。最初は水道も地震でやられ、1日後に復旧しました。水と石油は少し蓄えがあり、米も十分にありましたので良かった。孫が台所に来て、「今日は何を食べるの?」と見にきていました。主食と石油は備蓄が必要です。娘達に地震の後で風呂にも入られるとは思わなかった。と感謝されました。

安達郡 ・ 匿名希望

- 復旧・復興の歩みは遅すぎると思う。時間をかけるべき事、待ったなしの事を分けてスピード感を持って処理してほしい。事故の原因と責任の所在は、はっきりさせてほしい。今後の為に、これからもここで生活をする私達は現状を受け入れたうえで、学習の機会を増やして「安心・安全」を目指したいと思う。

安達郡 ・ サクラ



- ・ 被災された人々が早く故郷にもどれるように。

安達郡 ・ 匿名希望

- ・ あの震災後、会う人会う人暗い気持ち、そして皆が下を向いて歩いていた様な気持ちでした。2年経った今、コープ等でお会いしても元気良く、「どうしてる?」「元気だったかい?」と明るい声が返ってきます。特に浪江の方々には、いきいきサロンで知り合った方に声を掛けられたり、こちらから声を掛けたり、お茶っこ会の交流等で会話がはずみ、お互いに元気を取り戻したと思っているこの頃です。

安達郡 ・ 匿名希望

- ・ あの大地震から約二年が過ぎ、又巡り来た季節と共に野山は桜の花と、種々の自然は綺麗に訪れてきました。被災された人々が早く故郷に戻れる環境と、元の生活に戻れる様に心から祈ります。中通りに住んでいますが、一番は人との関わり方とか、助け合いの精神、自助努力が必要と思われました。震災は私達の心を荒げて行きましたが、自然の様に、豊かな気持ちで、人との出会いとか大切にしていきたいと思っています。

安達郡 ・ くちなし

- ・ 原発は要りません。東京電力福島第一原発の事故が悔しい。

安達郡 ・ 匿名希望

- ・ 震災から2年、でも私達には東京電力福島第一原発の事故が悔しい。お米も野菜も自宅で取れた物は食べられず、外へ出る時にはマスクを付け、子供達には外へ出ないよう注意をして、今家の子供達は会津へ避難している。原発はいりません。廃炉までは長い年月がかかり、その間にまた事故があるかも知れない。震災は終わっていません。震災前の私達の古里を取り戻すまで頑張らねばと思う日々です。

安達郡 ・ 匿名希望



【郡山地区】

- 原子力災害は、福島県などという行政の枠に無関係に放射性物質が山を越えた事で大きく広がった。取り返しのつかない災害であり、傷である。あのドカン！の映像を見る度に、安全よりもコスト削減と、利益を優先してきた日本の原子力事業の傲慢さに腹が立つのだが、すでに原発があったし動いて当たり前の事として眺めて来た自分にも腹が立つ。二年前と変わったのは、自民党が政権を取り返してしまった事。なぜ？皆が「反・脱原発」で消費税増税も反対していたのに…。早速原発0はなかったことにしよう。北朝鮮が危ない。中国も侵略してきそうだと、国防軍を作るなどと言っている。そして、消費税も上げようとしているではないか。私達の暮らしは平和でなければ成り立たないのだから、軍備拡張などにお金を使うより、和平交渉のプロを育てて将来子供が武器を持たなくていいようにすべきです。

郡山市 ・ 百年の孤独

- 2年前の3月11日に幼稚園の園庭で遊んでいた時に地震が起きました。その時必死に抱いて守った息子は無事幼稚園を卒園しました。避難もせず、福島で子育てを続け、我慢の多い生活の中でも子供達は笑顔を忘れず、たくましく育ってくれました。そんな我が子の存在、そして明るい笑顔があったからこそ、震災を乗り越えて、今の私達があるのだと感じます。感謝の気持ちを忘れず、4月からはピカピカの1年生になる子供達。この福島で元気いっぱいたくましく育ってほしい。それが、私達の願いです。

郡山市 ・ じゅんたんママ

- 最初は放射能の心配もありましたが、それもコープの学習会で話を聞いて不安が和らぎました。食事の調査をしていただいて、食べ物に関しての不安も解消されて、子供の甲状腺検査でA2の結果が出たので、心配でしたが他の県も出ている事を知り、安心しました。皆様からの色々な支援をしていただきましてありがとうございます。

郡山市 ・ 未羽

- 震災を乗り越えて2年経ちましたが、子供達のことを考えると心配です。放射線(能)は、少しずつ下がってきていますが、国・県・市の対応が遅すぎです。他の県の人とは他人事の様に忘れてきていますが、この福島に住んでいる人は一生の問題なのです。子供だけでも、他県で少しの間（春休み・夏休み・冬休み）でも保養してくれることを願います。保養企画募集している県・団体は、福島県のホームページにアップしてもらいたいです。一般の団体が頑張っているいろいろな企画を出しているのに、福島県は何をやっているのだろう。

郡山市 ・ 匿名希望

- 福島県は岩代の国と言われ、地盤が強く地震も少ないと思い込んでいただけに、大震災が自分の身に襲い掛かるとは夢にも思わなかった。当たり前の日常が一瞬にして破

壊され、不安な毎日を送ったこと…生涯忘れられない。自分にとって今、何が大切な事なのか、何が必要なのか、考えさせられた震災だった。そして、この二年でおそらく自分は変わった気がする。考え方や物の見方、将来への夢や現実とのギャップ、また同じような震災が起こりうる可能性、当たり前の日常が一番幸せである事、未来がどうなるのかは誰も分からないという事。

郡山市 ・ 今でしょう！

- 余震の回数が減ってきた今、あまり危機感がなくなりました。地震直後は断水した事が一番大変だったので、風呂の水は夕方まで抜かない様にしようと思っていたのに、今は何の気なしに水を抜いてしまったり、地震以前に戻ったみたいです。でも、現実には毎日発表される放射能の値を気にしたり、食材を買うにも県産か県外産か気にしたり、こんな生活がいつまで続くのかと不安になります。

郡山市 ・ ナンプレさん

- 1年目は色んな事に気を使っていたが、2年目位から諦めになり、普通の生活を送っている。なかなか除染が進まないのので、自分で芝生などをはがしていたが、半分で終わっている。(疲れてしまいました。) いまだに水は買って飲んでいいる。米は県外産を定期購入。

郡山市 ・ ちーまま

- 震災から1年目の時は、一生懸命生きて来た1年で、あまり覚えていないなあと皆で話していた。2年目、震災の事を思い出したくないと思います。テレビでも、その場面をあまり見たくないと思います。

郡山市 ・ ねこちゃん

- 福島、空気は違った面で汚染されたようで、残念で仕方がない。今まで広々した家で、のんびり暮していた方々が、仮設で狭くて気の毒です。

郡山市 ・ ペコちゃん

- 2年前の事を今思うと、普通の生活を送れる事の有難さを感じています。2年経つと震災の大変だったことが少しずつ薄れてきてしまいますが、あの時の大変だった事を思い出し、水、保存食は確保する様にしています。私達の住んでいる所は、さほど被害はなかったが、他県ではまだまだ復旧していない様に思う。早く震災前の普通の生活が出来る事を願います。

郡山市 ・ ハマちゃん

- 人それぞれ本当に色々な思いがあると思いますが、それでも「今」を生きるという心境です！！

郡山市 ・ 匿名希望

- 放射能に汚染されて二年、やっと除染が始まった郡山。しかし、各家庭の汚染された木々や土、石ころや砂利などあらゆる物を取り除き、すべてを家の敷地内に埋める事に。この先、この汚染物は決して消えない。こんな厄介者の放射能、いや原子力発電所を未だに動かそうとしている人達がいるとは驚き！“絶対安全”という触れ込みで始まった原子力発電所。絶対は無いことが福島の実現を見れば分かるはずなのに…。

郡山市 ・ 匿名希望

- 当たり前の事が、とても幸せなんだと思いました。今後、1日1日を丁寧に生きようと思いました。

本宮市 ・ 匿名希望

- 思いもしない大きな災害が降りかかり、たくさんの方々に力を頂いて、少しずつ元通りに近づいてきた生活ですが福島だけは、まだまだ未知の放射性物質が重く暗い影を落としています。人間が自分達の生活を便利にするために作り出した物なのに、制御すら出来ず、影響はどのようなものかわかりません。今思うことは、「地球は人間だけのものではない」という事です。地震や津波は確かに大きな力で様々な物を奪っていきましたが、またやり直す事ができます。しかし原発事故は、見た目は何も変わらない物も、場所も近づく事すらできず、人間自らの手で様々な物を捨てなければならず、何も知らない動植物の多くの命が奪われてしまった事が、とても大きなショックで心に残っています。「地球は人間だけのものではない」という事を肝に銘じ、生活していきたいです。

郡山市 ・ ままさん

- 2011.3.11 今までに体験した事の無い揺れ、この世の終わりか…と思うような吹雪。食料品がない、ガソリンがない、不便な日々から以前の生活に成りつつあるのかなと思います。解決していない事はいろいろあるけれど、あの時支えあう一体感は素晴らしかったと思う。この春、子供達の学校が仮設から本校舎へ戻る事ができました。

郡山市 ・ N・S

- 今も不自由な生活をしている方々が、心穏やかに暮せますように…。安全・安心な毎日を当たり前を送りたい。

郡山市 ・ Y・O

- 震災から2年が経ち、私が住んでいる郡山は壊れたビルや建物が無くなり、綺麗になりました。しかし、原発の問題はまだ解決せず、様々な不安も解消されたとは言えません。原発周辺の地域も手付かずの場所が多く、時が止まっているようです。もっとスピード感をもって、復興が進んでくれたらと思います。

郡山市 ・ ともちゃん

- 震災の時から、「このまま福島に残っていいのだろうか？」と考える事があります。今はあの頃より普通の生活を送っているように見えても、子供のいない公園を見るたびに、とてもとても悲しくなってしまう。子供達の未来が良いものでありますようにと願うばかりです。でも、多くの人の温かさと優しさを知る事が出来ました。遠く離れたところで、私達を応援してくださっている方がいる！！その事にどんなに勇気付けられた事か。そんな皆さんに心から「ありがとう」を伝えたいと思っています。「みんなは一人のために、一人はみんなのために」そんな気持ちをこれからも大切にしていきたいと思います。

郡山市 ・ シナモンロール

- 2年前…私達は自然の怖さを知りました。原発の恐ろしさを知りました。でも、この2年間…人の情の温かさを知りました。みんなで助け合うことの大切さを知りました。元気で生きていられるありがたさを知りました。この先福島は何年かかって元の姿に戻れるのか…いえ、元の姿に戻れるのかすら分かりません。でも、この2年間の貴重な体験を私達も、そして子供達も忘れる事なく前向きに生きていけたら…と思っています。

郡山市 ・ Y o s h i

- 3月11日の大震災は、ついこの間のことのように入れ、余震が来るたび思い出されたりします。しかも放射能という不安もまだ無くなったわけではありません。何が大丈夫なのか、大丈夫でないのか答えは出ませんが、そんな中、放射性物質摂取量調査に参加したことはとても良かったと思います。私なりに気を付けられることはしていきたいと思っています。子供達が健康に成長してくれる事を願うばかりです。

郡山市 ・ Y ・ Y

- あの、想像を絶する大震災からもうすぐ2年…皆さんにとっては、もう2年。まだ2年。どちらですか？私はやっぱり後者かなあって思います。今だに、5歳の娘にはペットボトルの飲料水を飲ませ、買物に行けばとりあえず産地をチェック。娘とよく行った公園はまだ線量が高く、幼稚園のお母さん達とは「甲状腺の検査、もう終わった？」なんて会話をかわし、ポストにはガラスバッジの線量結果が届いていたり…毎日が慌ただしく過ぎては行くけれど、やっぱりここは福島県なんだなぁと時々ハッとさせられます。もちろん、たくさんの方達の温かい気持ちに触れ、やっぱり福島が大好きだなぁ、ここを離れるなんて考えられないな、と思う毎日なのですが、それでも子供達を心配する気持ちは消えなくて…毎日の天気予報と一緒に放射線量が放送されるなんて、やっぱり普通じゃないですね。放射能の難しい事は、まだまだ分からないことがたくさんありますが、やっぱり未来を創っていく子供達の将来を守ってほしい。福島が、郡山が好きで離れられなくてそこで暮らす決意をした子供達をずっと見てほしい。それが私の願いです。20年、30年後にやっぱり福島が一番！ふるさとが一番落ち着くなぁ、とそんな声が聞こえる町でありますように…

- ・ 2年前の3月11日は宮城県に帰省中に地震にあいました。子供達と親とである写真屋さんへ、子供達の写真の予約をしていました。綺麗なドレスを着てかわいく髪をセットし、少し化粧をしてもらいすごく楽しそうなのが見てわかりました。それが一転してあの惨事。宮城県で何度か大きな地震を経験しましたが、揺れは今までのもより遥かに違い、楽しそうにしていた子供達は怖がり始め……。急いで着替え車に乗りその場を離れようとしたのですがすでに渋滞になってしまい抜け出すのも一苦勞でした。実家へ戻ると家の中は食器類が散らかっていました。その日の夜、主人に迎えに来てもらい福島に戻りました。翌日家（本宮の自宅）を見ると家の中もですが、家の周りも酷い状態でした。本宮の家はそのままに私達家族と主人の親とで三重県に避難しました。本来であれば福島の現状を見ると戻って来て正解だったのか・・・と思う日々です。これを書いている今日（H25. 4. 15）外の線量は驚くことに1.5弱ありました。2年経過しているのにこの数字が出た時には機械がこわれているんじゃないか？と思ってしまいました。震災直後はこの倍の数字でした。今でも家の外では遊ばせていませんが、まだ小学1年生、幼稚園児の子供です。外でも遊びたいと思います。自転車に乗せる為だけに会津の方へ行ったりもしています。福島県の子供は体力が落ちているなどのニュースを見るとやはり太陽の下で元気に遊ばせられる環境が一番なんだと痛感しました。後何年、何十年福島に住むかわかりませんが、子供達の体に何も変化が出ないことを祈ります。早く外で元気一杯遊べる環境になって欲しいです。

本宮市 ・ 匿名希望

- ・ 震災時 “普通” と思っていた事が“普通”に出来なくなる事ばかりでした。あれから2年……。起こったさまざまな事を忘れてはいけないのは当然ですが、思い出すと今も怖くてたまりません。壊れた物などは、買えば何とかかなります。でも心の傷はなかなか癒えてないと改めて感じています。

本宮市 ・ 匿名希望

- ・ 震災から2年、今だ原発は収束していません。原発からの放射能が子供の健康や将来の事などに影響がでないのか・・・と今でも不安な日々を過ごしています。私の実家ではいつ帰れるのかわからない今も避難生活を強いられています。家があるのに帰れない……。姉妹ともそれぞれ避難をしているのでなかなか会えません。早くみんなが笑顔で安心して暮らせる。そんな福島県になってほしいものです。

本宮市 ・ N

- ・ 福 幸 福島で暮らす人たちが、幸せだと思える福島になりますように……。

本宮市 ・ 匿名希望



- ・ 震災という非日常を経験し「当たり前」だった日常がいかに尊いものであったかを知る事ができた 2 年間でした。今も漠然とした不安をかかえながらではありますが普通に生活できている事をありがたいと思っています。ただ今最も欲しいと思うのは・・・大きな子供でものびのび走り回る事のできる屋内スペースです！！小さい子供のはあちこちに次々と作られ、もうけっこうという感じかな。それに比べありあまるエネルギーを持ちながらもくもくとゲームをしている（我が子も同様）ちょっと大きい子供達を見ると発散できる場所はないのか？といつも思う。道具なんて何もいない体育館のようなただ広いスペースがあればいいのに。今の私の切なる望みです。（学校の体育館開放してほしい！！）

本宮市 ・ おけいさん

- ・ 震災以降 福島をとりまく環境は大きく変わってしまいました。原発の事故で放射能という見えないものと戦うことになってしまいました。放射能への考えは、人それぞれでそのことが複雑な“福島”になってしまっていると思います。私達家族は、福島で暮らすことを選択しました。将来 子供達が胸を張って“福島”を語ることができる社会になることを望みます。

本宮市 ・ K N

- ・ あれから 2 年がすぎ、家はななめになりましたが家の中の人々は元気に頑張っています。何があっても、春は来るので期待しています。

田村市 ・ 匿名希望

- ・ 大震災、原発事故から 2 年が経ちました。原発事故は未だにトラブル続きで不安な日々を送っています。私が今一番思うことは「食の安全」です。放射性物質など気にすることなく、安心して何でも食べられる日がくる事を願っています。

郡山市 ・ 匿名希望

- ・ 耐

郡山市 ・ 匿名希望

- ・ 震災から 2 年、何も変わらない現実、福島は今も原発の恐怖を抱えている。しかし、世の中は何事も無かったかのように動いている。福島の私達は、もっと強く発信していかないと忘れられていく。謙虚な気持ちが良いわけではない。みんなで声を上げていこう。

郡山市 ・ 匿名希望

- ・ 震災時には原発を問題に思う言葉が、マスコミや政治家からよく聞かれていたのに、今では再稼働を「私の責任で」再開するというのには、憤りを感じている。全てが後

手後手で、何か起こってからの対応。今私が懸念しているのは、子供達が十分な環境で“遊ぶ”ことができず、そうやって育った子どもは、大人になって社会性などしっかり身に着くのか…ということ。除染を行い、やることをやっている以上今までどおりの、のびのびした環境で十分に遊ばせてあげたい。プールも泥遊びも…。近場でそういうことのできる場を提供してほしい。線量を気にしている人目線のものはいっぱいあるが、そうでない人のことも考えて！！

郡山市 ・ H・M

- 福島も暖かい日差しがさし、桜もようやく満開になり春を感じる季節になりました。震災から2年が過ぎました。今まで体験した事のない揺れでの恐怖、原発事故による不安。そんな中、子どもを、家族を守らなければ！という責任感で精神的にボロボロになりながら過ごしていたように思います。それでも悪い事ばかりでは無かったです。人の親切、温かさに触れ合えた事は何よりも心の助けになりました。1人1人の力は小さい物かもしれませんが、支えがとても私達の励みになり、前向きになるきっかけとなり、毎日過ごせています。本当に御支援ありがとうございました。

郡山市 ・ M・M

- 震災にあい、恐怖と不安でいっぱいでしたが、周りの人達からたくさん励ましてもらい、前に進む事ができました。これからも、人と人との繋がりを大切にしていきたいと思います。

須賀川市 ・ 匿名希望

- あの時のことを思い出すと涙が出ます。私たち家族は、これからも福島で頑張って生活していきます。福島は私の生まれ育った場所。大好きな場所です。

郡山市 ・ fleur

- 東日本大震災と福島原発事故から、丸二年が経ちました。私には忘れられないシーンが二つあります。ひとつは、当時小学二年生と幼稚園年長組の二人の孫娘がいて、あの地震発生時は、一人は学校で、もう一人は幼稚園から帰る途中のバスの中での出来事でした。近所の方が自分の子供と、私の孫娘を学校まで迎えに行ってくださり、私は帰宅が遅れた幼稚園のバスを待ちました。バスは中々来る気配が無く、待っている間に不安が募り、無事を信じるほかにありませんでした。どれ位の時間が経過したのか、バスを見た時は力が抜けるほどに安堵しました。止まったバスの中から、運転手さんが両手で大きな丸を作って“無事”を知らせて下さり、孫娘を降車させてくださった先生から「遅くなりましたが無事帰ってきました。」の言葉に、幼稚園バスの運転手さんと先生に、感謝の気持ちでいっぱいになり、熱いものが込み上げたことが忘れられません。二人の孫娘は、それぞれの体験をジェスチャーで表現して教えてくれましたが、恐怖心そのものが伝わり、その後の余震では何度も両親にしがみついて地震に怯えていました。ふたつ目は福島原発事故により、年間積算放射線量を減少させるため

に、夏休みを利用して孫娘と北海道に自主避難した時のことです。原発事故以来、我が家の近くの公園からは、子供達が遊ぶ声は全く聞かれなくなり、屋内遊びを余儀なくされて過ごしていた孫娘は、北海道の公園で何ヶ月ぶりにマスクもせずに、伸び伸びと自由に、まるで風糸の糸が切れた風のように思いきり走り回って遊ぶ姿を見て、本来のあるべき子供の姿に胸が熱くなりました。そして毎日、「北海道のきれいな空気を沢山吸って、放射線に勝つように、カツゲン（北海道限定の乳酸菌飲料）を飲みなさい。」と励ましていただき、人と人の繋がりや絆を実感しながら、感謝の日々を過ごしました。今も北海道のお米や野菜は、安心・安全だからと食材を送ってくださり頭が下がります。原発事故の収束まで数十年と言われ、二年が過ぎた今もトラブル続きの報道に、収束の先が見えない長期化が懸念されますが、私が生きている限り震災と原発事故にまつわる強い印象の二つのシーンは、再び巡り来る三月には、何年の月日が重なろうと決して忘れることなく鮮明に蘇ると思います。

郡山市・ おばあちゃん

- ・ 震災から2年。まだまだ大変な事も、悩む事も、落ち込む事も多いけれど、少しずつ頑張っ

郡山市 M・H

- ・ 2年経ち、まだ壊れたままの建物も少しはありますが、だいぶ元に戻ってきています。生活をする上での不便はほとんど感じません。ですが、やはり心配は放射線の影響です。子供達への影響が気になります。

郡山市 ・匿名希望

- ・ あの震災から2年が過ぎました。家が壊れはしなかったものの地震にはとても怖い思いをしたし、津波では宮城に住んでいた親戚を亡くしました。何より、今も心配な事は原発です。当時よりだいぶ普通の生活ができるようにはなりましたが、除染が進まない事、放射線量も変わらない事、心配です。子供達に影響はないのだろうか…と思いつつ、出来る事をやり、毎日を過ごしています。が、この生活にも慣れつつあり…慣れてはいけないのではないかと、もっと危機感を持たなければならないのではないかと考えたり、現実逃避で嫌な事は忘れたいとも考えたりします。もう二度と、このような事は起こらないでほしい。一日も早くきれいな福島に戻ってほしいと強く願います。

郡山市 ・ H・O

- ・ 震災直後は恐怖と不安の中、子供達を家族を守らねば、の想いだけでおりました。放射線の問題で、何度も郡山を離れようか悩んだ事や、辛く苦しい事は沢山ありました。今も大変な事はあります。でも、前を向いてゆくしかない。と心を決めてこの郡山で頑張っています。全国の生協の組合員さんからも、温かい励ましや援助を頂き感謝しております。昨年コープみえ様から、卓上カレンダー（組合員さんのメッセージ・イ

ラスト入り)を頂戴し、感激しました。毎月、心が元気になるメッセージに勇気もらいました。本当にありがとうございます。これからも郡山で、福島で頑張ります！！

郡山市 ・ はずかしがりっ子

- 私には2人の娘が居り、2年前の震災直後幼稚園に入園した下の娘が、今春卒園しました。入園後の1年は園庭で遊ぶ事が出来ず、上の娘の時に当たり前だった事が何もかも規制され、ここに居ていいのかとても悩みました。クラスのお友達が避難で減っていくたびに悲しく、不安でやり場の無い思いもたくさんしました。昨年からは、徐々に震災前の生活に戻り、砂場で泥遊びを楽しそうにする姿を見たときは、涙が出るほど嬉しかったです。あの1年が辛かった分、人との繋がりや、優しさを感じたり思い出深い最後の1年を過ごす事ができ、無事に卒園を迎え、とても感慨深い思いです。ここ福島に残って良かったと思えた事が嬉しい2年目の春でした。

郡山市 ・ K・F

- 批判、不満を工夫・アイディアに変えていきたい。特に苦労された農家の方々の土地を良くする努力を伝えてほしい。全国の支援に感謝。未だに地震が来ると安否確認してくれる西日本の方がいること。

郡山市 ・ T

- 2万人近い人々が命を落とした東日本大震災から2年が過ぎました。ですが、まだまだ多くの被災者が、今も生活の基盤を再建できずにいます。普段当たり前のように暮して、当たり前のように誰かと関わっている事が、どれだけ幸せな事なのか、思い知らされました。復興には、まだまだ時間がかかりそうですが、あの震災を決して忘れず、私たち一人一人が、今出来る事を頑張っていきたいと思います。

郡山市 ・ 匿名希望

- 震災から2年というより、原発事故から2年という思いが強い。郡山市は少しずつ除染が進んでいるが、除染しても元に戻る訳ではなく「とりあえず」の感が強い。それにしても、原発の使用済核燃料は水で冷却するしか安全を確認する方法が無いのに、その電源装置が仮設のままで、ネズミにより冷却がストップするとは、あまりにもお粗末過ぎる。汚染水の問題にしても、正常時には冷却した水は海に流していたのに、今は流せないで毎日400トンもの汚染水をタンクに保管し、タンクが足りないので泥縄式でしのいでいる状態です。これでは、近い内に海に流さざるを得ないのは目に見えている。思い切って汚染水を循環させる等しないともたない。国も原子力安全委員会も一緒になって対策を考えないと日本は海洋汚染国になりかねない。安倍首相も安全が確認されたら、再稼働と言うなら、現状打破を本気で考えてもらいたい。株価が上がったと喜んでいる場合ではない。

郡山市 ・ 匿名希望

- 天災は責任を押し付けられない。自助努力が必要。原発事故は「人災」。

東 電・・・国の責任を明確にしてほしい。

心の声・・・国の高級官僚・東電の経営陣は家族込みで 1 年間福島県で生活してほしい。現実を直視してみろ。内閣も「大丈夫」というなら出来るはず。風化を進めて自分達がやりたい方向へ進めようとしている。ブームに流されないように現実を見ていきたい。

郡山市 ・ 心の声

- 2 年前、あの震災時の全国・世界の方々の親切は、本当にありがたく頭が下がりました。今でも思っています。これからも復興のために手を貸していただく事、沢山あると思います。この先福島の為には、県産品を買って頂く、福島に来てもらう努力をしなければいけないと思います。生協として出来ること、全国の生協に呼び掛けて、検査を受け安心な県産品を買ってもらうという事に力を入れてほしいと思います。農業・漁業など生産者が震災前のように安心して生活していける環境作りが出来ることを願っています。私も微力ながら県産品を買って行きたいと思います。

郡山市 ・ 匿名希望

•



今年も皆で桜を見ることが出来た幸せ。
毎日家族の為に料理を作る事が出来る幸せ。
いるのが当たり前ではないのだ！！



原発は作るべきではなかったと思う。
でも資源の無い日本では仕方がないの？
便利な生活になれてしまった自分が辛い・・・
昔の暮らしに戻るにしても、このまま原発とつきあうにしても覚悟がいるんだ。覚悟が！！



水道水を飲むのが怖かった。そんな時、コープさんで水を持って来てくれた。
親や兄弟や友人が福島を脱出しろと、毎日電話やメールで心配してくれた。
日本中いやいや世界中の人々が被災地の悲しみに寄り添い手を差し伸べてくれた…全ての人に感謝です！！
ありがとうございます。

3 月 1 1 日からポツポツとこんな事思いながら生きてます！！

郡山市 ・ 匿名希望

- こうして生きている幸せを感じています。「地震・雷・火事・おやじ」2011. 3. 11 初めて地震がこんなに怖ろしいと知りました。更に原発の目に見えない恐怖も感じています。あの日、いい人も子供も大人も沢山の方が命を奪われました。私は今こうして生きている。生きたくても生きられなかった方の分も、この限られた人生の命を大事に生きたいと思ったら、時間を大切に使用したいと思いました。命を大事にする事は、時間を大事にする事なんだと気付きました。また、4人の子には将来好きな事を職業にしなと、声かけしました。自分で選んだ道は大変でも頑張りがききます。また、主人と後でなんて言わないで、チャンスがある時、ミニ旅行でも何でも行こう～と実行中です。そして「ありがとう～」を多く伝えたいです。

郡山市 ・ 匿名希望

- 本当に大丈夫！買物をする時も、外で遊ぶ時も、いつもそう思います。除染をしても、運び入れるところも決まっていないのです。廃炉にも何年かかるか分からないし、たとえ廃炉になっても、放射性物質をゼロにすることはできない。処分の仕方もわからない物を何故作ってしまったのか。原子力発電が出来ないことで、電気代が上がる。納得いかないことばかりです。でも、ここで生きてゆくしかないのです。除染をしても、決して昔に戻ることはないので、上手に付き合っていかなければいけない。まだまだ、不安だらけです。

郡山市 ・ ムラチャン

- 思いがけないほどの大地震。目に見えないものの原発の恐さ。体験した人でないとわからないです。以前私もそうでした。今思うことは、当たり前と思っていた事は感謝そのものでした。だんなさん、家族、とりまく方々は宝物ですネ！大事にしなくてはなりません。今日を大事に大切に、今日という日を特別の一日として意識して生きたいと変わりました。先日知り合いが風邪をひいたんです。いろいろ話を聞いたら、「心が風邪をひいた」と感じました。こんな風に思ったのは初めてでした。心が心が元気に。

郡山市 ・ 匿名希望



【いわき地区】

- 震災後、今までの「ふくしま」とは、まったく違った生活を送ってきたように感じます。「津波」「放射能」さまざまな苦悩を抱えてきました。1日でも早く、心から笑え、安心して生活できる「ふくしま」を取り戻したいです。

いわき市 ・ ゆうこりん

- 改めて考えると、色々な経験をした2年間でした。震災当初は物資がなく、生活がとても大変でした。その後、原発の問題などで頭を悩ませる日々ですが、日々前を向いて活動していきたいです。

いわき市 ・ 匿名希望

- あっという間に2年間が過ぎ、年月が経つにつれ、忘れ去られていくような気がします。あの時の思いを忘れず、今後どのように過ごしていけるのかも多少心配である。以前の生活にほぼ戻っているような気もします。

いわき市 ・ L a L a L a

- 震災直後はいろんな意味で、不安だらけでした。コープさんで、放射性物質（陰膳方式）の食事調査、ホールボディ検査などで、少しずつ不安が解消されてきました。まだまだ私たちの住んでいる街は人口流失が多いためか、落ち着きませんが、いろいろなコープ活動に参加し楽しみたいと思っております。

いわき市 ・ みちか

- 震災当時は、外出するのにも不自由があり、また食事にも気をつけなければならず大変な思いをしていました。今となっては、ほとんど気にせず、今までとあまり変わらない生活をしていて、元気に暮せています。だけど、やっぱり全く同じというわけにはいかず、多少の我慢や不満を強いられることもあり、生活が変わったなあと感じる事もあります。皆がそれぞれ十分な生活が出来るように、早く復興してほしいと思います。

いわき市 ・ いちご

- 生きている事へのありがたさを感じます。震災の時は食べる物もなく水も出ず、色々大変でしたが、今はご飯も普通に食べられて、テレビも買物もスムーズに出来、幸せな生活を送っています。その当たり前な生活を大事に1日、1日大切に過して行きたいと思います。家族が揃っている。それが一番幸せな事だと思います。

いわき市 ・ 匿名希望



- 私的には少しずつ落ち着いて来ている様に思うが、ニュース等で見聞きすると、まだまだ復興には程遠く思います。早く復興の兆しが見えてくると良いのですが。

いわき市 ・ M・K

- 震災から1年位までは、いろいろ大変な思いや不安な思いもありましたけど、今は普通に過ごせています。

いわき市 ・ みいちゃん

- 命の大切さ。今ある命に感謝。辛い事、苦しい事、多々あるけど命ある限り、世の中の為になる人間になれたらと思う。誰かの役に立つ人間になれたらと思う。

いわき市 ・ えみちゃん

- 食の大切さ、命の大切さがより深く感じる様になりました。その為、絆がいつそう深まり、「考えて行動」という事が出来てきました。何が大事か、当たり前のことを当たり前と考えない「ありがとう」という言葉が増えてきました。

いわき市 ・ 匿名希望

- 震災から2年…あっという間に過ぎてしまったような気がします。当時は水も出ない、ガソリンもない…今まで普通に、当たり前に過ごしてきた事が普通でない現実には不安を感じ、また日頃の生活がいかに幸せであったか思い知らされました。水の大切さ、水が普通に使える幸せに感謝！！

いわき市 ・ アッコ

- 震災があってから生活するのが大変でしたが、半年が経つと普通の生活に戻り、この2年間経った今は記憶が薄れつつあります。

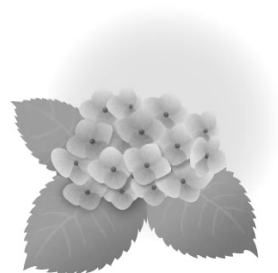
いわき市 ・ 匿名希望

- 「普通」に感謝です。

いわき市 ・ 匿名希望

- 普通に生活できる喜びを実感しています。でも、まだまだ元の生活に戻れないでいる人がたくさんいるという事も事実なので、私たちはそれを忘れてはいけないと思っています。

いわき市 ・ 匿名希望



生活協同組合 コープふくしま

〒960-8566

福島県福島市森合字清水7番地 コープマーケットいずみ2F

発行人／理事長 今野 順夫

管理部／TEL 024-557-1125

FAX 024-557-5359

コープふくしまホームページ／ <http://www.fukushima.coop/>